

震災から4年半が経過し各地で復興公営住宅が整備され始め、住まいの復旧・復興も進みつつあります。しかし同時に、これからの地域を支えていくために新たなコミュニティづくりが必要になってきます。本ミーティングでは「多様な世代が集う場づくりから広がる"おらほの"地域づくり」をテーマに、各地区の取り組みをヒントにコミュニティづくりを参加者の皆さんとともに考えます。

<u> 話題提供:地域づくりのヒント</u> | 13:30~15:30

地域住民の出番づくり~千葉県柏市豊四季台を事例として~

牡鹿半島「おらほの家」の取組~その人らしさを引き出す居場所づくり実践~:(一社)キャンナス東北(石巻市)

浜の大文化祭「おらほのとっておき」 : 前浜地域振興会(気仙沼市本吉町前浜)

話題提供を受けてコメント 15:30~16:00

交流会 ※会費 ¥500 | 16:15~17:15

※参加者で取組を互いに紹介いただく機会に致します。パンフレット等をお持ちの団体さんなどは当日ご持参ください。

※事前にお申込み頂いた方の当日のキャンセルは致しかねます。あらかじめご了承ください。

■対象者:**住民、支援団体、行政職員、社協職員**など

■定 員:60名

第1部

■参加費:<u>無料</u>(交流会のみ500円)

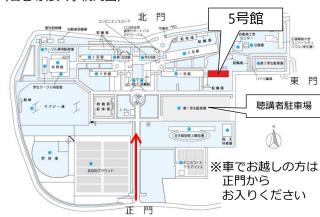
■申 込:チラシ裏面をご覧ください。

■問い合わせ先:

(一社) みやぎ連携復興センター (担当: 中沢・高橋・西舘)

E-mail: renpuku@gmail.com

(石巻専修大学構内図)



:矢冨 直美氏((一社) セカンドライフファクトリー理事長)

主催:宮城県 震災復興・企画部 地域復興支援課 企画・運営: (一)

企画・運営: (一社) みやぎ連携復興センター

登壇者・団体紹介

矢冨 直美 氏

(一社) セカンドライフファクトリー理事長。東京大学高齢社会総合研究機構(IOG)、 千葉県柏市、UR都市機構などが協働で実施する「セカンドライフの就労モデル開発研究」 の現場責任者を務める(東京大学IOG協力研究員と兼任)。ミシガン大学老年学研究所客 員研究員、東京都老人総合研究所(現:東京都健康長寿医療センター)主任研究員などを 経て、現職。認知症予防を主な研究領域とする。

(一社) キャンナス東北

^{発表者} 野津 裕二郎氏

看護師を中心とする有償ボランティア団体キャンナスが母体(本部:神奈川県藤沢市)。 東日本大震災の発生を受け、震災初期から避難所支援を開始し、現在は牡鹿半島・渡波地 区中心に、人・地域に寄り添いながら保健活動・地域支援を行う。民家を改装した地域の 居場所「おらほの家」の運営や、住民互助組織「寄らいん牡鹿」のサポートを行う。

前浜地域振興会

^{発表者} 畠山 幸治 氏

気仙沼市本吉町前浜地区の自治会として、震災以前から地域活動を盛んに展開。住民の得意技や手作り品を持ち寄って開催する地域の文化祭、「おらほのとっておき」は十数年にわたって開催している。震災後は地元産の木材を使い、被災したコミュニティセンターを住民の手で再建するなど、地域住民が主役の取組がなされている。

- ▶ミーティングのねらい
 - ○各地の取組を共有し、震災5年目の地域づくりを考える
 - ○他地区・他分野の取組から今後の活動に生かせるヒントを得る

第2回 みやぎ地域復興ミーティング in 石巻市

参加申込書

- ■Webからお申し込みの場合
 - →下記URLから参加申込フォームにアクセスの上、必要事項を入力して送信下さい。 (みやぎ連携復興センターWebサイトリンク) http://www.renpuku.org/?p=3942
- ■FAX・メールにてお申し込みの場合
 - →本申込書に必要事項を記入し、FAXまたは電子メールにて送信下さい。

○申込・問い合わせ先: (一社)みやぎ連携復興センター(担当:中沢・高橋・西舘)

TEL: 022-748-4550 FAX: 022-748-4552

E-mail: renpuku@gmail.com

所 属 (団体名)					
連絡先		電話 番号			
		E-mail			
参加者					
No.	氏	名	職名	第1部	第2部
1				□参加 □不参加	□参加 □不参加
2				□参加 □不参加	□参加 □不参加
3				□参加 □不参加	□参加 □不参加
4				□参加 □不参加	□参加 □不参加
5				□参加 □不参加	□参加 □不参加

参加申込締切:11月18日(水)18:00まで